

【復興道路】一般国道106号宮古西道路 (仮称)松山トンネルが貫通！！

～ 本格復興推進年！宮古西道路で初めてとなるトンネル貫通！ ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興道路」として宮古市松山～根市間で整備を進めている宮古盛岡横断道路（一般国道106号）宮古西道路について、平成26年10月6日に（仮称）松山トンネル（L=73.0m）が貫通しました。

（仮称）松山トンネルは、平成26年7月31日に安全祈願祭が開催された後、これまでトンネル掘削工事を進めてきました。（仮称）松山トンネルは、トンネル上部に確認されている松山館跡を保全するためにトンネル工法を採用しており、地山の地質状況が悪くトンネル全線で補助工法が必要となるなど、掘削には高度な技術を要します。このため、トンネル掘削時の地山の緩みを抑える工法や、地盤の動きをリアルタイムで観測しながらの施工等、施工性や安全性に配慮した新技術等を採用することにより、無事故で、かつ約2ヶ月という短期間で貫通することができました。

今後は、残る掘削工事を進めると共に、トンネル内部をコンクリートで覆う工事や排水施設の設定等を進め、平成26年度内の完成を目指して工事を進めていきます。

貫通前の状況



貫通の瞬間



施工状況（起点側）



施工状況（終点側）



【宮古西道路の事業概要】

県では、東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く**信頼性の高い道路ネットワークを構築**することを目的として、**三陸復興道路整備事業**を実施しています。

宮古西道路は、宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の一部として、三陸復興道路整備事業の「復興道路」に位置付けられており、**国と連携して県が整備**を進めています。

- (1) 計画延長：3.6km
- (2) 計画幅員：一般部 7.0（13.5）m、橋梁・トンネル部 7.0（12.0）m
- (3) 事業期間：平成15年度～平成30年度
- (4) 全体事業費：13,000百万円（平成25年度末までの進捗率約44%）
- (5) 主要構造物：トンネル2箇所、橋梁2橋

【（仮称）松山トンネル築造工事の概要】

- (1) 工事名：一般国道106号宮古西道路（仮称）松山トンネル築造工事
- (2) 工期：平成26年3月6日～平成27年3月2日
- (3) 請負額：929,769,840円（第1回変更）
- (4) 受注者：村本建設株式会社・熊谷建設株式会社特定共同企業体
- (5) 概要：施工延長566.4m、トンネル工（NATM）73m、道路改良工493.4m等

宮古西道路の事業概要

